

砺波カイニヨ倶楽部会報

第十号

平成十一年七月発行 発行者 砺波カイニヨ倶楽部 代表幹事 柏樹直樹
事務局 富山県砺波市表町七一二十五 TEL 0763/33/6588
天野一男建築工房内

◇旧中嶋家での掃除と総会

平成十一年五月三十日(日)砺波市チューリップ公園内 旧中嶋家にて掃除をした後、平成十一年度総会を行った。見学会や講演会などの行事計画を確認した

この日は、各市町村での行事も多く参加者は子供を含め十五名と少なかったが、全員で約一時間ほど中嶋家のカイニヨや家屋の掃除、玄関石の整理補修作業を行った。

午後二時から総会をはじめ、平成十年度の決算報告と行事報告の承認、平成十一年度の行事計画を確認した。
また、出席者全員が会への期待や近況等の意見を出し合った。
総会の後、「これからの住まい」と題して会員の天野一男さんの話を聞いた。(裏面に内容掲載)

●総会での出席者からの意見

I: これからの倶楽部への期待は大きい。もっとたくさんの人に参加してもらおう努力が必要だ。

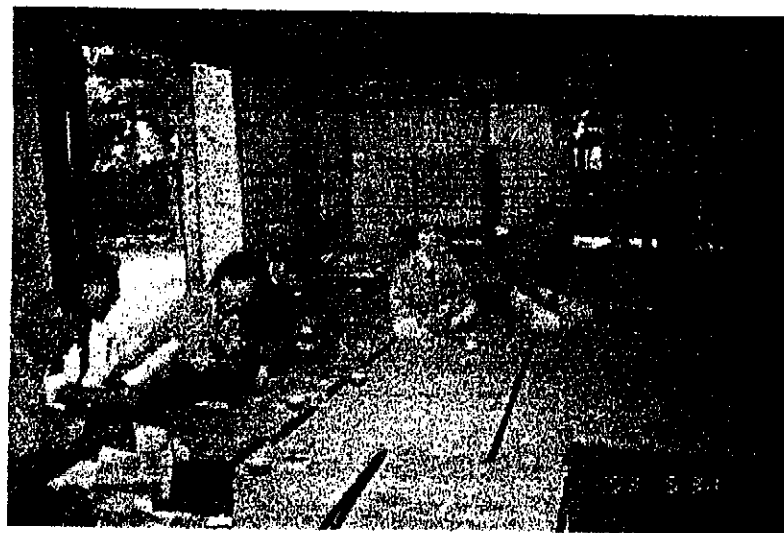
夏休みには児童クラブにも呼びかけ親子で木と楽しむ集いをやるとよいのではないか。

D: カイニヨを知らない住人が多くなっている。こうした人たちとも通じ合える機会をつくること。

家族で話し合いをし、一本のケヤキを残したが、保存には責任が付いてまわり大変なことだと思う。

Y: 倶楽部の役割として「参加することを楽しむ会」であるとともに、散村博物館構想などやいろいろなことに対しての「リーダーシップ」も求められてきている。この二つをからめての活動が必要になってきている。

カイニヨの枝打ちについても自然体のもので進められる方法を提案していくことが必要だ。



きれいになった中嶋家でお茶を飲みながらの総会

- 雨どいヘルメットを使ってみたが大変合理的でよかった。
- K: 楽しくカイニヨとともに生きていくために、少しでも刺激を受けられるような活動内容を倶楽部に期待したい。
- D: 木を植えたつきりにしているが、手入れの方法が知りたい。
- A: よいカイニヨのモデルをつくり見学しあう。
- : カイニヨの歴史的な役割を伝承していかなければならない。
- : 子供が参加できることを考える。
- : 市内のいろいろなカイニヨを見学したい。
- S: 子供たちに残していけるのはカイニヨが唯一のもの。
- K: 活動には筋論、幅広論といわれるものが交錯するものだ。修正しながら、ゆっくりすすめていけばよい。

柏樹代表幹事の挨拶から

●二年間の活動は倶楽部の主旨に照らしみてどうだったか。
会員は増えたが、活動内容は不十分で特に会員相互の交流が不足。
会報の発行でどうにか会員とのつながりを保った。

外部からの倶楽部への期待は大きい。実利に近いこととして「雨どいヘルメット」の調査を紹介した。

●新しい活動の方向として・・・
外部の方からの意見を聞く勉強会を開く。樹木に近づく親子の集い。

カイニヨの手入れ体験
会員相互の意見発表の機会をつくる。



イロリを囲んで

公園樹木の勉強会もやろう。新役員は全員再選

- | | |
|------|-------|
| 代表幹事 | 柏樹直樹 |
| 幹事 | 新藤正夫 |
| 幹事 | 尾田武雄 |
| 幹事 | 高木美奈子 |
| 幹事 | 台蔵正一 |
| 幹事 | 出村忍 |
| 幹事 | 中田ちづ子 |
| 監事 | 和田健 |
| 事務局長 | 天野一男 |

お天気にもめぐまれすがすがしく掃除ができた



◇「これからの住まい」

天野一男さん（建築家）の講演

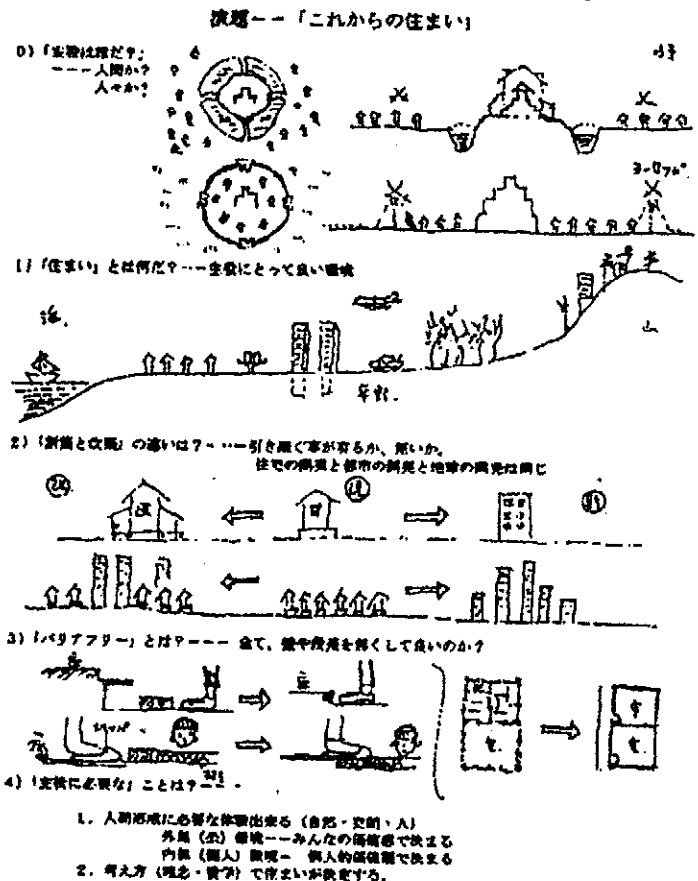
一、住まいの在り方について
 どんな視点で考えるか問われている。

二、住まいの主役は誰か。
 住宅に住む、砺波に住む、家や地域と共に住む。だから、「人」「人々」が主役である。住むという字は「人」が「主」と書く。堀に囲まれた日本の城の中には、君主がひとり居て、人々の生活空間である堀の外で敵と戦う。当然人々の家は燃える。城壁に囲まれたヨーロッパの城の中には君主と人々が共に生活し、城壁で敵と戦う。クーデターが多い。つまり堀や壁の中か外かの生活空間の違いによって、人々の生死までも左右する。

三、「住まい」とは何だ。
 住宅だけではなく、山、平野、海に至るまで人々の居るところ全てが住まいである。環境は人の生き方に大きく影響する。主役にとって良い環境を、広い視野で考える必要がある。

四、「改築」と「新築」の違いは？
 「改築」は住む人の歴史や経過が見える。「新築」は過去がゼロとなる。とくに、地域の開発においては、「新築」であってはいけない。

五、「バリアフリー」とは？
 段差を全て無くしていいのか。玄関とオイエが同じ高さでいいのか。



フロアリングと畳の座敷が同じ高さでいいのか。フロアリングはイスの生活、畳は座の生活、まして寝室にもなる。大陸では靴で家の中を歩くが、ベッドで床より高いレベルでトコにつく。転倒する原因の多くは、床の段差ではなく、カーペットのヘリやコードで足を引っ掛けること。建物の段差は、毎日の生活の中で無意識に学習し体が覚えるのである。

六、「主役」に必要なことは
 自然と人工とのバランスのとれた環境の中で、より多くの体験をすることが、楽しく充実した人生を送れるのではないかと。内部環境(個)は個人で決定できるが、外部環境(公)は、人々の価値観において決定される。次の世代に、何を残し何を残すかを考え、昔の歴史を語り体験させることが大切。人々が自分の生き方に信念や哲学を持つことが、これからの良き住まいを考えるのに必要である。

◇会員の方からのお便り

振込用紙の通信欄に書き添えられていたメッセージです。

いつも会報を送っていただき感謝しております。お近くにお見えの際は、小さなお声かけでも構いません。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。いつも、いつも、いつもに仲入りいただきありがとうございます。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。

H・Nさん

エドヒガン様 遅れいりて及激でした。道々痛んてアツキ、ツクシ、夕倉にさそくいたいただきました。善後寺行く途中、申社の様も大きいです。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。

T・Yさん

柳土雄先生、中野家の住み心地は、お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。

Y・Tさん

お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。お声かけの機会を、老い若く問わず感じてもらいたいです。

Y・Kさん

平成11年度 行事計画

平成11年5月30日(日)	総会	チューリップ公園内中嶋家
平成11年7月4日(日)	囲炉裏を囲んで話を聴く会	國重先生の講演
平成11年夏	夏休み中	チューリップ公園の樹木の親子見学会
平成11年秋		カイニヨ見学会
平成11年春		カイニヨの手入れ

事務局から

倶楽部への要望や参加した感想など何でも結構です。FAXやおハガキで送ってください。お待ちしております。また、年会費未納の方はなるべく早めにお願いたします。